



馬の学校

馬の学校通信

2007. 12 vol.28



発行 馬の学校

事務局 〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町 3-27-26 TEL/FAX : 06-6330-0406

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : http://www.horseschool.org



秋のプログラム 活動報告



ファミリープログラム (10/28、11/3)



ウマクイズを考え中



「きれいにしてあげるね」



家族で協力して



馬の絵も描きました



お父さんと一緒なら大丈夫



記念撮影

馬とのふれあいプログラム (10/21、27、11/18)



「とまれ～」



エサを作っています



「かわいいね」



「よろしくね」



走るのは怖いけど楽しい!



そうじもがんばりました



顔まできれいに



「馬ってこんなふう食べるんだ!」



記念撮影



2007年 活動報告



3月27～31日 ウマキャンプ (清里)

4月21日 馬とのふれあいプログラム (服部)

4月28日 ファミリープログラム (和知)

5月20日 馬とのふれあいプログラム (枚方)

6月24日 馬とのふれあいプログラム (服部)

7月30日 大阪 YMCA 国際専門学校

乗馬体験プログラム (和知)

8月 1～ 4日 ウマキャンプ (清里)

8月19～24日 帝京科学大学 実習 (清里)

10月21日 馬とのふれあいプログラム (枚方)

10月27日 馬とのふれあいプログラム (服部)

10月28日 ファミリープログラム (和知)

11月 3日 ファミリープログラム (和知)

11月18日 馬とのふれあいプログラム (服部)

保護者へのアンケートから



ファミリープログラム

家族にとってよかったことは・・・

- ・有意義な一日が過ごせた。
- ・初めて出逢う家族の方々と子どもを中心に1日楽しく過ごした事。
- ・帰りの電車の中で馬の違いの話で盛り上がり、3人3様の感じ方の違いがあって面白いと思った。

子どもに対する見方で変わったことは・・・

- ・掃除なども協力して頑張ってやり遂げる姿を見て、今まで思っていたより忍耐強いと感じました。
- ・個性を再発見できたので、更によいところを伸ばすために、声かけが変わりました。





ウマコンテスト 結果発表!



作品はホームページで見ることができます

優秀賞	兵庫県	早瀬 詩さん (12歳)
準優秀賞	奈良県	稲本 涼子さん (9歳)
馬と遊ぼう賞	奈良県	牧口 美咲さん (9歳)
パカパカ賞	大阪府	森下 優磨さん (14歳)
ユーモア賞	大阪府	横田 陸生さん (5歳)



優秀賞 早瀬 詩さん



おすすめの本

『Horse whisper』 日本に生きる馬たち

佐藤史子 著 新風舎

日本在来馬である御崎馬、与那国馬、道産子達の姿を撮った写真集です。サラブレッドのようなスマートな馬たちではないけれど、自然の中でたくましく生きる姿には愛おしさも感じます。また馬だけでなく、背景にある風景もとても美しく、日本の良さを再発見できる写真集です。



イギリスの「シティ・ファーム」①

今年3月にイギリスに行った際、ロンドンにある「シティ・ファーム」も見学してきました。シティ・ファームとは、都市部で生活する人たちが動物と触れ合ったり、作物を収穫できる場であるとともに、農業と食べ物の関係等を学ぶことができる教育の場でもあります。ロンドン市内だけでも、20ヶ所以上のシティ・ファームがあります。

ロンドン北部にある「ケンティッシュタウン・シティ・ファーム」は1976年設立で、ロンドンで一番早くにできたシティ・ファームです。住宅街のど真ん中にあり、壁に描かれたにぎやかな絵が目印です。私が訪問したのは土曜日のお昼前でしたが、すでにたくさん子どもたちがやってきていて、様々な動物の世話をしていました。このファームにいる動物は、馬の他に、牛、羊、豚、にわとり、ガチョウ、アヒル。スタッフは、教育、動物飼育、乗馬、遊びに関する資格を持った専門家が6名、他に多くのボランティアが活動を支えています。ボランティアの中には、非行等の問題を起こしたことがある青少年や、障害を持つ人々なども含まれています。平日は、ロンドン市内の学校から1年に約8,000人の子供たちが訪れるとのこと。動物を見たり、触ったりするほかに、動物の成長や科学、地学などの勉強などもすることもあるそうです。また週末には動物の世話や工作、料理、乗馬などができ、1日に約30人の子供たちが参加しています。基本的に利用は無料ですが、乗馬のみ1回5ポンド(約1,200円)必要となります。3歳の子供を連れてよく来ているというお母さんは、「いろいろな動物に触れ合せて、子どもにとってはとても大切な場所よ!」と語っていました。



編集後記

毎年のことながらあっという間に12月となり、2007年も残りわずかとなりました。今年も無事に全てのプログラムを終えられたことに感謝いたします。今年の参加者はのべ51名、お手伝い頂いたボランティアの方はのべ32名でした。また例年に比べ、初参加・初ボランティアの方が多く、馬の学校の広がりを感じられた1年でもありました。

イギリスの「シティ・ファーム」は、以前に紹介したドイツの「子ども農場」のイギリス版といった感じでした。ドイツと大きく違ったところは、ボランティアが活動を支えているということ。特に障害を持つ人々にとっては、地域の中での居場所となっている場合も多いそうです。シティ・ファームと言えばいつ思い出しても苦笑してしまうことがあります。それは、以前フォーチュンセンターの方に「シティ・ファームにも関心があるのですが・・・」と言ったところ「えっ??チキン・ファーム?」と聞き返されたこと。自分の発音の悪さに落ち込みました・・・ではみなさま、楽しいクリスマスとよいお年を!(峯崎 友香理)